

# Society 5.0を実現する データ活用推進戦略

■ 2017. 12. 12

■ 一般社団法人日本経済団体連合会

# 実現する社会

課題起点の6分野について、  
データの活用によって実現する社会を示す





# 災害対策

## 現状認識

世界有数の地震国。自然災害も続く  
企業でBCP策定は進むが、各主体の  
連携が不足

## 将来像

データに基づく適切な災害  
対応や準備  
迅速かつ的確な救援・避難  
計画の実施  
復旧時の最適資源配分

### 自治体データ

### 自治体データ 自治体を越えた情報の共有

### 自治体データ

住民基本データ	要介護者データ	ハザードマップデータ	地形・地質 河川・ダム データ
道路・交通データ	人流データ	災害観測データ (地震・土砂・火山)	避難所データ

発災時の情報の  
リアルタイムな連携

### 個人データ

ヘルスケアデータ (病歴、服薬状況等)	緊急連絡先
本人確認のためのデータ (顔認証、指紋、静脈等)	SNSデータ

### 事業者データ

備蓄・在庫データ	病院データ
ライフラインデータ	交通・位置データ



POINT

- 官民に分散したさまざまな情報を組み合わせ、  
災害時の各局面において、自治体を越えて安全・安心を守る

## 現状認識

2020年には観光客数  
4000万人を目指す  
データに基づくマーケ  
ティングが不足

## 将来像

データを基盤にした観光戦略の実行  
により、観光客の満足度向上、観光  
地の安全性確保  
観光消費による経済効果を楽しむ

### 公共データ

道路・交通データ	観光地データ
地図データ	治安データ
出入国データ	災害データ
インフラデータ	建築物データ

### 事業者データ

人流データ	購買データ
宿泊データ	交通データ

### 個人データ

旅行者基本データ	SNSデータ
----------	--------

データを基盤とした  
観光戦略の実行

データ連携



POINT

- さまざまなデータ保有者からデータを収集・管理する主体の確立
- 各種データを安全かつ効率的に集積し管理する手法・技術の確立
- 自治体が保有する関連データのオープン化及び匿名加工情報化の推進



# ヘルスケア

## 現状認識

社会保障制度の持続可能性が懸念  
地方の医療・介護体制の維持が困難

## 将来像

一人ひとりに最適なサービスを提供し、健康寿命の延伸、医療費適正化に貢献  
データ活用により医療従事者の生産性向上



様々な主体に分散する個人にかかわる医療・ヘルスケアデータ

バイタル情報	特定健診情報	母子手帳情報
食事情報	自治体健診情報	予防接種履歴
服薬情報	学校健診情報	処方データ、おくすり手帳情報
保健指導情報	ADL情報	電子カルテデータ
レセプトデータ	検査データ	検査画像データ

散在するデータを収集するしくみ



患者の情報を医療機関で共有・活用



民間事業者による高度なヘルスケアサービスが実現



POINT

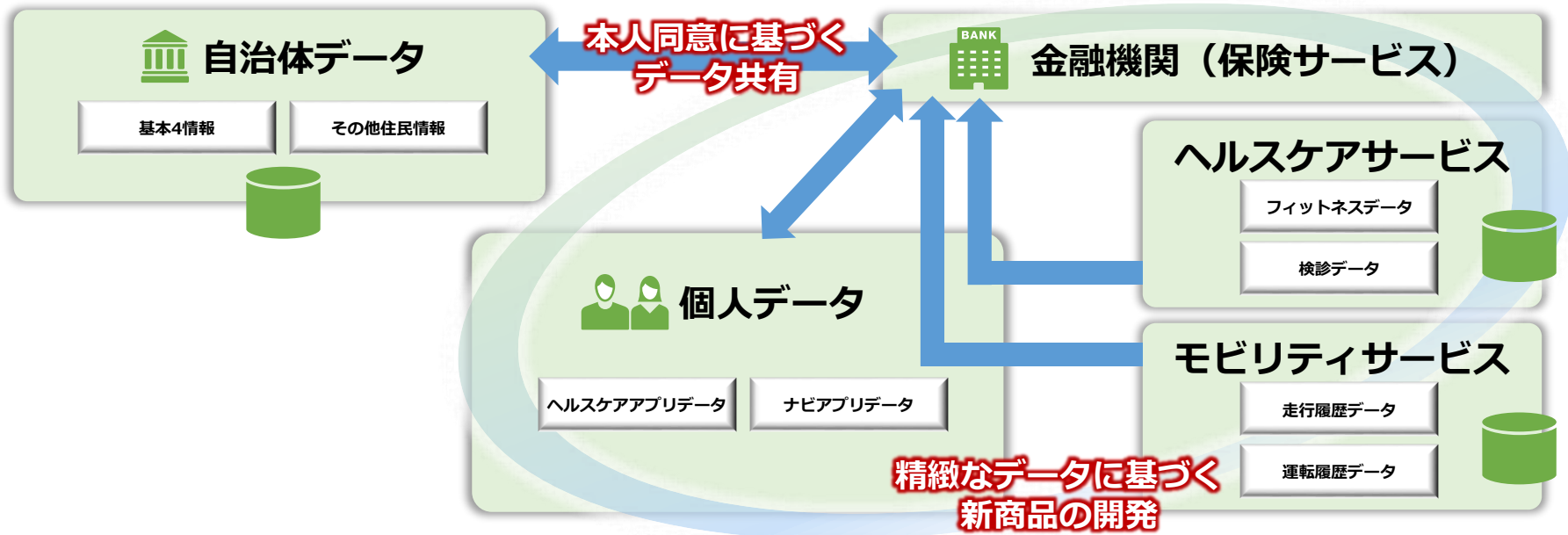
- 患者の情報を医療関連機関で共有・活用し、一人ひとりに最適なサービス提供を実現
- 診療支援サービスを適切に取り入れつつ、医療の質や、医療従事者の生産性を向上

## 現状認識

より良い金融商品の開発に向け  
 創意工夫  
 必要なデータの入手が困難。  
 連携が不足

## 将来像

多様なニーズに対応する保険商品を  
 開発  
 個人の意識変容を促進。安全なクル  
 マ社会や健康寿命社会の実現に貢献



## POINT

- 基本4情報（氏名、性別、住所、生年月日）等の民間活用を可能とする仕組みの構築
- 多様なニーズに沿った多彩な商品の中から、個人が自らにふさわしいものを選択

## 現状認識

少子高齢化にともなうコミュニティの喪失  
つながり希薄化による住民満足度の低下

## 将来像

コミュニティのデジタル化による地域のコミュニケーション強化  
生活者が求めるサービスの創出

### 自治体

子育て・福祉・学校 関連情報

イベント・施設・ゴミ出し 情報

回覧板・連絡網 情報

自治体と住民、住民同士のコミュニケーションを強化

### 小売・メーカー

商品・サービス情報

購買情報

保守メンテナンス情報

暮らしにおける課題解決ソリューション提供

蓄積されたデータを小売やメーカーで活用

### 電子チラシ

チラシ情報

### 個人データ

基本情報

趣味・興味情報

情報配信プラットフォーム



POINT

- 情報配信プラットフォーム（例：電子チラシサービス）を基盤とし、コミュニティのデジタル化を推進。蓄積されたデータを小売やメーカーで活用することで、生活者が求める新たなサービスを創出



# ものづくり

## 現状認識

海外でものづくりの  
スマート化の動き  
製造現場データの利活用が  
停滞

## 将来像

製造現場データの協調領域を明確化  
設計や開発の効率化等、スマート化  
を進め、製造業の国際競争力を強化

協調領域と競争領域を明確化

		設計データ	生産用データ	保守・カイゼン用データ(現場含む)
目的例		良品設計	生産効率・品質の維持・向上	ダウンタイム削減、カイゼン
クロスまたは ディスクロスなデータ	著作権のある データ	設備・装置関連 <input type="text" value="工場設計情報 (図面、等)"/> 製品関連 <input type="text" value="部品加工データ (CAD、等)"/> <input type="text" value="製品組立データ (組立CAD、等)"/>	<input type="text" value="生産指示データ (レシピ、等)"/>	
	著作権のない データ		<input type="text" value="生産データ (生産数、仕掛品数、等)"/>	<input type="text" value="市場情報 (クレーム、等)"/> <input type="text" value="環境データ (周囲温度、湿度、等)"/> <input type="text" value="検査情報 (材質、外観、重量、長さ、等)"/> <input type="text" value="人の動作データ (動線、等)"/> <input type="text" value="画像・映像データ (リアルタイム、非リアルタイム)"/> <input type="text" value="装置データ (パラメータ、稼働時間、速度、振動、温度、音、等)"/> <input type="text" value="装置保守情報 (保守記録、等)"/>
オープン データ		設備・装置関連 <input type="text" value="装置情報 (カタログ、取説、等)"/> 製品関連 <input type="text" value="部品/素材情報 (カタログ、等)"/>		

データの業界横断的な活用を実現



POINT

- 製造データのなかで協調できるデータを明確化
- 製造サプライチェーン全体の効率化や環境保全への対応をはかり、国際競争力を維持





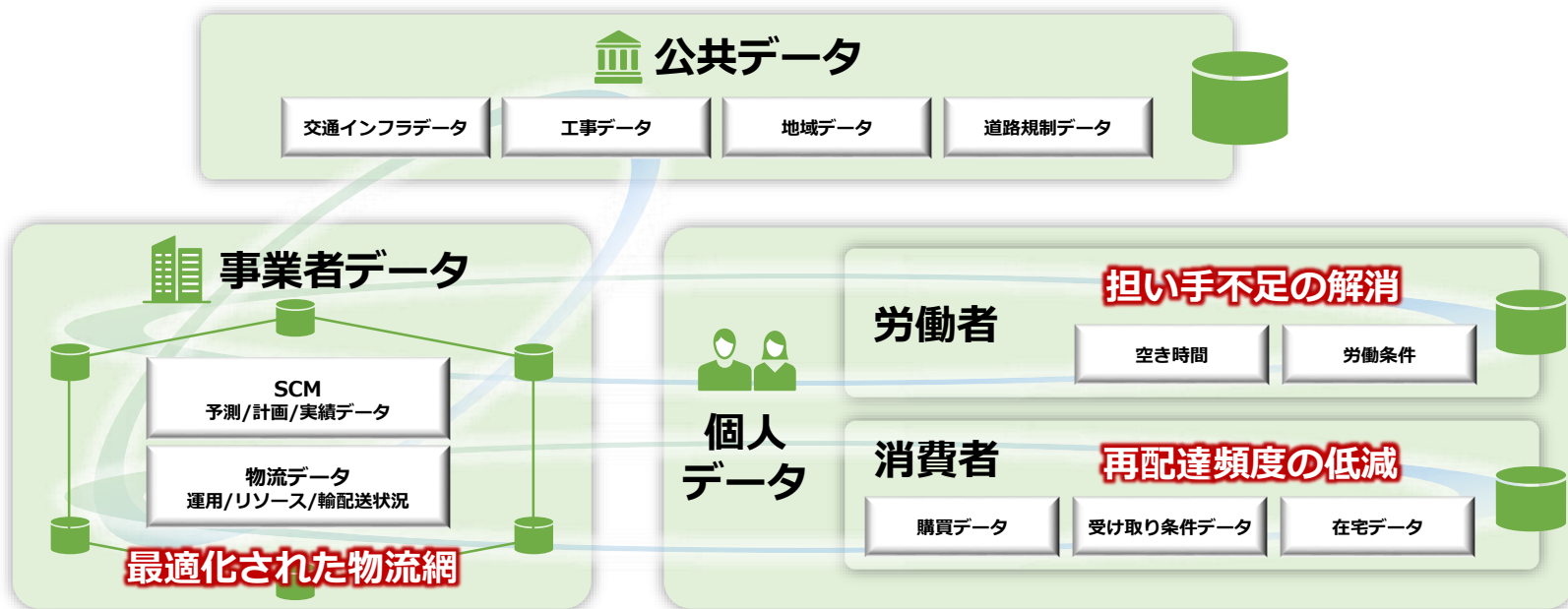
# 物流

## 現状認識

少子高齢化にともない物流の担い手が不足  
輸送効率も低下し、物流網の効率化が急務

## 将来像

企業間のデータ共有で物流リソース活用、再配達頻度の低減等をより強  
力に推進  
全体最適化された物流網の構築



POINT

- さまざまな事業者間でのデータ共有によって全体最適が図られた新たな物流網へ変革
- AIによる分析で導出した計画を受け入れ、速やかに対処できる社会システムをつくる

# 実現に向けた鍵

---

前半の社会像を実現するデータ活用促進には、  
分野を問わず共通する **4つの要件**が存在

**①** 必要なデータを手に入れる

**②** 必要なデータを使える

**④** 社会に受け入れられる

**③** ビジネスが持続的に成立する

# ① 必要なデータを入手できる

---

## ■ 公共データのオープン化

- ▶ 官民ラウンドテーブルの継続と分野の拡大
- ▶ 地方公共団体のデータのオープン化の促進

## ■ 行政保有の個人データの利活用促進

- ▶ 基本4情報（氏名、性別、住所、生年月日）等の民間活用を可能とする仕組みの構築

## ■ 新たなデータ流通の仕組みの活用

- ▶ 情報銀行に関わる柔軟なルール整備

## ② 必要なデータを使える

---

「安心して」使うため…

- データにかかわる権利責任の整理
  - ▶ 契約ガイドラインの改訂等
- 不正競争防止法の改正
- 個人情報にかかわるガイドラインの整備
- 紛争解決手段の検討

## ② 必要なデータを使える

---

「技術的」に使えるため…

- データフォーマット標準化、API連携
- データ加工、セキュリティ等の技術開発

# ③ ビジネスが持続的に成立する

## 企業に求められる役割

### 経営層の 理解

データ活用に対する理解を促進  
人材育成や体制整備への投資

### 協調領域の 明確化・拡大

互いにメリットがある形での  
協調関係の構築。ベンチャーと連携

### 国際標準化

国際標準化団体や  
海外プラットフォームとの連携促進

### ③ ビジネスが持続的に成立する

---

#### 政府に求められる役割

##### 基盤の整備

公益性の高い災害対策、ヘルスケア等に関するデータ基盤整備

##### 実証実験の 事業化

優れた実証実験について、各省協力の下、事業化を後押し

##### 民の後押し

民主導の取り組みについて、政府の後押し

## ④ 社会に受け入れられる

---

### ■ 社会的な理解の獲得

知らない間にデータが使われる「不安」

▶ 国民の情報リテラシーの向上

自身にメリットが返ってこない「不満」

▶ データ活用に関するメリット・デメリットに関する理解

### ■ 政府の役割

データ活用の後押し  
好事例の横展開  
教育面での貢献

### ■ 産業界の役割

先進的サービスの展開  
セキュリティ確保  
プライバシー保護